

テーマ4

さまざまな栽培植物と 農耕の文化

受講料無料

受講申込制・定員50名
(先着順・定員になり次第締切らせて頂きます。)

開演 13:30

(開場 13:00 全講座共通)

第9回 2009.1.17 (土)

鼎談「さまざまなウリたち」

加藤鎌司・田中克典・藤下典之

会場：総合地球環境学研究所・講演室

第10回 2009.2.21 (土)

シンポジウム「日本の南北と栽培植物」

阿部純・石川隆二・細谷葵・光田重幸・佐藤洋一郎

会場：同志社新島会館別館・会議室G

第11回 2009.3.14 (土)

座談会「農業と環境」

秋道智彌・小山修三・光田重幸

湯本貴和・佐藤洋一郎

会場：同志社大学今出川キャンパス・弘風館25番教室

第12回 2009.4.18 (土)

講演「ユーラシアの風土と農業」

佐藤洋一郎

会場：未定

※都合により、出演者が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

ユーラシア農耕史 — 風土と農耕の醸成

テーマ4
さまざまな栽培植物と
農耕の文化

これまで日本人に最もなじみの深いコメ、ムギを中心とした農耕の起源、文化をみてきましたが、ユーラシアには多様な農耕社会とその文化が展開していました。講座最後のテーマ4では、ユーラシアに展開したさまざまな作物（ウリ、イモ、マメなど）を扱い、その起源と文化に焦点をあてます。また、そうした多様な農耕社会における生業と環境はどのようなものであったのか、その歴史をたどりながら、今日の問題について考えます。

第9回 2009.1.17 (土)
鼎談「さまざまなウリたち」

加藤鎌司・田中克典・藤下典之

第10回 2009.2.21 (土)
シンポジウム「日本の南北と栽培植物」

阿部純・石川隆二・細谷葵・光田重幸・佐藤洋一郎

第11回 2009.3.14 (土)
座談会「農業と環境」

秋道智彌・小山修三・光田重幸・湯本貴和・佐藤洋一郎

第12回 2009.4.18 (土)
講演「ユーラシアの風土と農業」

佐藤洋一郎



出演者プロフィール (50音順)

- 秋道 智彌 (あきみち とみや) 総合地球環境学研究所副所長・教授。理学博士。専門は生態人類学。著作に、『クシラは誰のものか』、『図録モンの世界—歴史と生態』(編著)、『東南アジアの森に何が起きているか—熱帯雨林とモンスーン林からの報告』(共著編)など。
- 阿部 純 (あべ じゅん) 北海道大学大学院農学研究院准教授。農学博士。専門は植物遺伝・育種学。著作に、『タヌの進化-ツルメの果たしてきた役割』(『栽培植物の自然史』、共著)など。
- 石川 隆二 (いしかわ りゅうじ) 弘前大学農学生命科学部教授。農学博士。専門は植物育種学。著作に、『国境を越えて』(『アジア遊学』No.55)、『<三内丸山遺跡>植物の世界-DNA考古学の視点から』(共著)など。
- 小山 修三 (こやま しゅうぞう) 吹田市立博物館館長。Ph.D.(カリフォルニア大学)。専門は文化人類学、考古学。著作に、『森と生きる-対立と共存のかたち』、『狩人の大地-オーストラリア・アフリカの世界』、『縄文学への道』、『縄文探検』など。
- 加藤 鎌司 (かとう けんじ) 岡山大学大学院自然科学研究科教授。農学博士。専門は植物遺伝育種学。著作に、『植物育種学ハンドブック』(共著)など。
- 佐藤 洋一郎 (さとう よういちろう) 総合地球環境学研究所副所長・教授。農学博士。専門は植物遺伝学。著作に、『DNA考古学のすすめ』、『稲の日本史』、『里と森の危機(クライシス)』、『よみがえる緑のシルクロード-環境史学のすすめ』など。
- 田中 克典 (たなか かつり) 総合地球環境学研究所プロジェクト研究員。農学博士。専門は植物遺伝学。各地におけるメロンの起源や伝播について、遺伝学、民族学、考古学等幅広い観点からの研究に取り組んでいる。
- 藤下 典之 (ふじた のりゆき) 元大阪府立大学農学部教授。農学博士。専門は育種学、花粉学。著作に、『メロンの仲間の系譜』(『食品保蔵科学会誌』)、『異常花粉、懐古録と最新の研究』(『花粉学会誌』)など。
- 細谷 葵 (ほそや あおい) 総合地球環境学研究所プロジェクト研究員。Ph.D(英国ケンブリッジ大学)。専門は植物考古学。著作に、『ハブア・ニューギニアの農耕活動に関する民族調査』(『社会考古学の試み』、共著)など。
- 光田 重幸 (みつた しげゆき) 同志社大学理工学部環境システム学科学科准教授。理学博士。専門は植物系統分類学、森林生態学、絶滅危惧植物保存。著作に、『しだの図鑑』、『有用植物大事典』(共編著)、『適応という名の神話』(『文明と環境』、共著)など。
- 湯本 貴和 (ゆもと たかかず) 総合地球環境学研究所教授。理学博士。専門は生態学。著作に、『日本列島に人間と野生動物との共生の歴史をさぐる』(『ナチュラルヒストリーの時間』、共著)、『植物の宝庫-屋久島』(『水と世界遺産』、共著)など。

※本講座の内容は、臨川書店より『ユーラシア農耕史—風土と農耕の醸成』として各テーマごとに刊行される予定です。

※ 申込方法は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご返信ください。もしくは申込項目をご記入の上、メールにてご返信いただいても結構です。FAX、メールのご使用ができない場合には、お手数ですがお電話か郵送にてお申し込みください。

申込先： 総合地球環境学研究所
プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/>



〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
TEL : 075-707-2389 FAX : 075-707-2508 MAIL : sato@chikyu.ac.jp

第9回会場
総合地球環境学研究所

〒603-8047
京都市北区上賀茂本山457番地4
TEL : 075-707-2389

- JR京都駅より
地下鉄烏丸線で「国際会館」下車。
国際会館駅3番又は4-1番出口より 国際会館駅前バス乗り場「2」から 京都バス40系統(京都産業大学前ゆき)に乗り(所要6分)、「地球研前」下車。
- 京阪沿線より
出町柳で叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「二軒茶屋」下車。徒歩10分。



第10回会場
同志社 新島会館別館

〒602-0867
京都市上京区寺町通り丸太町上ル
TEL:075-251-4393

- JR京都駅よりタクシーで約20分
- 京阪丸太町駅より徒歩西へ約10分
- 地下鉄丸太町駅より徒歩東へ約10分
- 阪急烏丸駅よりタクシーで約10分
- 地下鉄京都市役所前駅より徒歩北へ約15分



※講座に関してのお問い合わせは、地球研までお願い申し上げます。

臨川書店 連続公開講座 ユーラシア農耕史

参加申込書

FAX : 075-707-2508

ふりがな
お名前

ご同伴の方がいらっしゃる場合には、その方のお名前もご記入ください。

〒
ご住所

TEL
FAX
メールアドレス

- 参加をご希望される回にチェックを付けて下さい。
- 第9回 2009.1.17(土)
 - 第10回 2009.2.21(土)
 - 第11回 2009.3.14(土)
 - 第12回 2009.4.18(土)
- ※1回のみ受講も可能です。